

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年9月17日 (2015.9.17)

【公開番号】特開2014-30991(P2014-30991A)

【公開日】平成26年2月20日 (2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2012-174332(P2012-174332)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/38 D

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 3/12 K

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月4日 (2015.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の C P U コアを含む C P U を有する画像形成装置であって、
ネットワークを介して、外部装置から送信されたパケットを受信する受信手段と、
前記受信手段により受信された前記パケットが設定された種類のパケットである場合、
前記画像形成装置の電力モードを、前記 C P U への電力供給が行われない第 1 の電力モードから、前記 C P U への電力供給が行われる第 2 の電力モードに変更する変更手段と

、
前記変更手段により前記画像形成装置が前記第 1 の電力モードから前記第 2 の電力モードに変更された場合、前記受信手段により受信された前記パケットの種類に基づいて、動作させる前記 C P U に含まれる C P U コアの数を決
定する決定手段と、
を有する画像形成装置。

【請求項 2】

前記 決定手段は、前記画像形成装置のネットワーク設定情報と、前記受信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させる前記 C P U に含まれる C P U コア
の数を決
定する請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記 決定手段は、暗号化設定情報を含む前記ネットワーク設定情報と、前記受信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させる前記 C P U に含まれる C P U コア
の数を決
定する請求項 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記決定手段は、ネットワークの速度情報を含む前記ネットワーク設定情報と、前記受

信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させる前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する請求項２記載の画像形成装置。

【請求項５】

前記決定手段は、前記受信手段により受信された前記パケットの種類が印刷ジョブのパケットである場合、前記ＣＰＵに含まれる全てのＣＰＵコアを動作させると決定する請求項１乃至４何れか１項記載の画像形成装置。

【請求項６】

複数のＣＰＵコアを含むＣＰＵを有する画像形成装置であって、
ネットワークを介して、外部装置から送信されたパケットを受信する受信手段と、
前記受信手段により受信された前記パケットが設定された種類のパケットである場合、
前記画像形成装置の電力モードを、前記ＣＰＵへの電力供給が行われない第１の電力モードから、前記ＣＰＵへの電力供給が行われる第２の電力モードに変更する変更手段と
、
前記変更手段により前記画像形成装置が前記第１の電力モードから前記第２の電力モードに変更された場合、前記受信手段により受信された前記パケットの種類に基づいて、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する決定手段と、
を有する画像形成装置。

【請求項７】

前記決定手段は、前記画像形成装置のネットワーク設定情報と、前記受信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する請求項６記載の画像形成装置。

【請求項８】

前記決定手段は、暗号化設定情報を含む前記ネットワーク設定情報と、前記受信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する請求項７記載の画像形成装置。

【請求項９】

前記決定手段は、ネットワークの速度情報を含む前記ネットワーク設定情報と、前記受信手段により受信された前記パケットの種類と、に基づいて、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する請求項７記載の画像形成装置。

【請求項１０】

前記決定手段は、前記受信手段により受信された前記パケットの種類が印刷ジョブのパケットである場合、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を０に決定する請求項６乃至９何れか１項記載の画像形成装置。

【請求項１１】

前記変更手段は、更に、前記ＣＰＵにより前記受信手段により受信された前記パケットに応じた処理が実行された場合、前記画像形成装置の電力モードを、前記第２の電力モードから、前記第１の電力モードに変更する請求項１乃至１０何れか１項記載の画像形成装置。

【請求項１２】

複数のＣＰＵコアを含むＣＰＵを有する画像形成装置の制御方法であって、
ネットワークを介して、外部装置から送信されたパケットを受信する受信ステップと、
前記受信ステップで受信された前記パケットが設定された種類のパケットである場合、
前記画像形成装置の電力モードを、前記ＣＰＵへの電力供給が行われない第１の電力モードから、前記ＣＰＵへの電力供給が行われる第２の電力モードに変更する変更ステップと、
前記変更ステップで前記画像形成装置が前記第１の電力モードから前記第２の電力モードに変更された場合、前記受信ステップで受信された前記パケットの種類に基づいて、動作させる前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する決定ステップと、
を含む画像形成装置の制御方法。

【請求項１３】

複数のＣＰＵコアを含むＣＰＵを有する画像形成装置の制御方法であって、ネットワークを介して、外部装置から送信されたパケットを受信する受信ステップと、前記受信ステップで受信された前記パケットが設定された種類のパケットである場合、前記画像形成装置の電力モードを、前記ＣＰＵへの電力供給が行われない第１の電力モードから、前記ＣＰＵへの電力供給が行われる第２の電力モードに変更する変更ステップと、

前記変更ステップで前記画像形成装置が前記第１の電力モードから前記第２の電力モードに変更された場合、前記受信ステップで受信された前記パケットの種類に基づいて、動作させない前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する決定ステップと、を含む画像形成装置の制御方法。

【請求項１４】

コンピュータを、請求項１乃至１１何れか１項記載の画像形成装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

そこで、本発明の画像形成装置は、複数のＣＰＵコアを含むＣＰＵを有する画像形成装置であって、ネットワークを介して、外部装置から送信されたパケットを受信する受信手段と、前記受信手段により受信された前記パケットが設定された種類のパケットである場合、前記画像形成装置の電力モードを、前記ＣＰＵへの電力供給が行われない第１の電力モードから、前記ＣＰＵへの電力供給が行われる第２の電力モードに変更する変更手段と、前記変更手段により前記画像形成装置が前記第１の電力モードから前記第２の電力モードに変更された場合、前記受信手段により受信された前記パケットの種類に基づいて、動作させる前記ＣＰＵに含まれるＣＰＵコアの数を決定する決定手段と、を有する。